

ReCAAP 10周年記念にあたっての安倍内閣総理大臣メッセージ

1 アジア海賊対策地域協力協定（ReCAAP）が10周年を迎えるに当たり、日本国政府を代表して、一言お祝いの言葉を申し上げます。

2 古来から、我々人類は海から多くの恵みを得、海上交通が世界を結んできました。海洋と貿易の自由は人類の発展と繁栄の礎であり、「開かれ安定した海洋」は国際社会全体の平和と繁栄に不可欠です。

3 人類の叡智の産物である海洋法の秩序を脅かす海賊は「人類共通の敵」とされてきました。世界に広がるシーレーンの安全を脅かす海賊への対応は、海上交易の恩恵を受ける我々全てにとって死活問題となっています。ReCAAP 情報共有センター（ISC）は、過去10年にわたりアジアの海賊対策に取り組んで来られました。ここに改めて、その任務に対し深甚なる敬意を表します。そして、我が国も事務局長と事務局長補を派遣し、他の締約国と共に、その活動を支えて参りました。

4 私は、2014年のシャングリラ・ダイアログでの基調講演で、海における「法の支配」の重要性を述べ、「法の支配」を貫徹すべき世界・人類の公共財として海洋を保ち続けることこそ、私たちに共通の使命であり、世界共通の利益であることを訴えました。我々はこの素晴らしい海を、次の世代に引き継いでいかなければなりません。「海は万人のもの」。400年前に「国際法の父」グロティウスが唱えた言葉は、今後も変わることがありません。5月に私が議長を務めるG7伊勢志摩サミットにおいても、「海洋国家」として、海における「法の支配」を堅持していくため、各国と協力していく決意を新たにしたいと思います。

5 我が国は、アジアの沿岸国が海の安全を保ち、航行の自由と安全を保全しようとする努力に対し、支援を惜しみません。我が国は国際機関としてのReCAAP ISCへの支援を続けて参ります。巡視艇の供与や技術協力、人材育成を通じて、アジアの沿岸国の海上保安機関の能力の向上を支援しており、こうした支援を更に強化していきたいと考えています。

6 ReCAAPが、締約国と新しく任命された黒木雅文次期事務局長の下で、更にその活動を強化し、地域協力を促進することにより、「開かれ安定した海洋」の護持に貢献していくことを期待しています。

平成28年3月17日
内閣総理大臣 安倍晋三